

平成30年度 高岡市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

平成30年度は、高岡市上下水道ビジョンに掲げる施策事業を推進するなかで、下水道の使命である生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除に鋭意取り組むとともに、事業運営の効率化を図り、経営の健全化に努めました。

下水道施設整備では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備に取り組み未普及地域の解消を図るなか、市中心部における老朽管路の更新事業や浸水対策として雨水幹線整備を進めました。また、基幹施設整備として松太枝浜浄化センターの汚泥脱水施設設備改築工事に着手するとともに、四屋浄化センターと松太枝浜浄化センターの沈砂池設備改築工事など実施しました。

<普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,407.73haで前年度に比べ 27.78haの増加。また、処理区域内人口は 161,061人で前年度に比べ 908人減少し、普及率は94.1%となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,699,120,873円、事業費用 5,209,450,608円で収支差引 489,670,265円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 3,379,021,230円、資本的支出額 5,551,179,700円で不足する額 2,172,158,470円は、減債積立金 349,292,249円、過年度分損益勘定留保資金 601,094,799円、当年度分損益勘定留保資金 1,167,148,255円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 54,623,167円で補てんしました。